

エーアンドエーマテリアルグループ 2020中期経営計画 (2018年度～2020年度)



工場・プラントをプロテクト



トンネル・車をプロテクト



ビル・集合住宅・
戸建住宅をプロテクト



船舶をプロテクト



いつもどこかで、PROTECT



環境をプロテクト



パイプをプロテクト



鉄骨をプロテクト

2018年5月14日

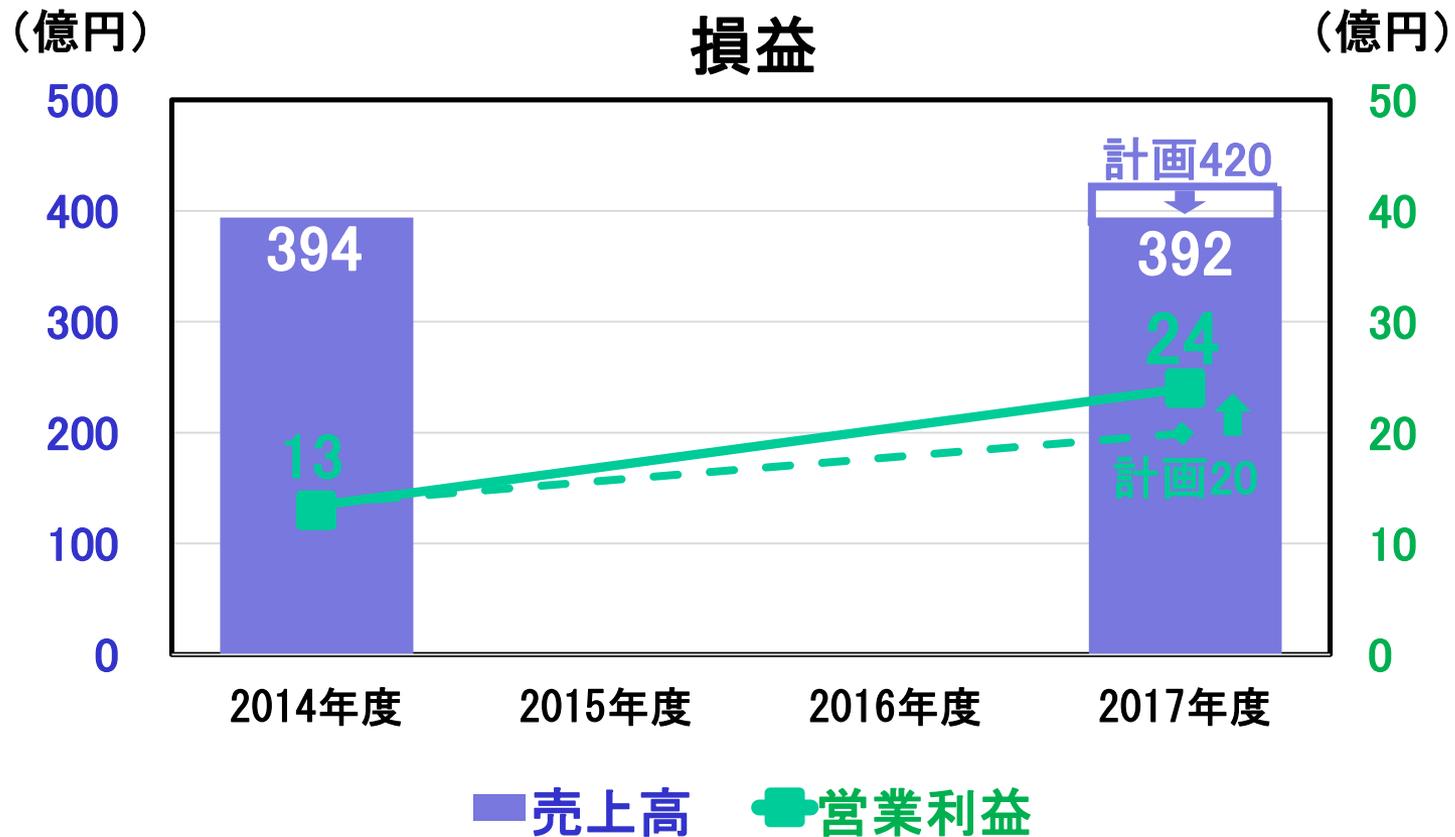
目次



【2017中期経営計画の総括】	1
2017中期経営計画の総括 経営指標の達成度	2
2017中期経営計画の総括 自己資本の推移と配当	3
2017中期経営計画の総括 経営基盤の強化	4
【2020中期経営計画】	5
当社グループを取り巻く環境	6
各業界・事業の動向	7
2020中期経営計画 目指すべき方向性	8
2020中期経営計画 営業利益目標	9
2020中期経営計画 グループ営業利益目標	10
2020中期経営計画 キャッシュフロー配分イメージ	11
当社グループ事業の成長（建設・建材事業）	12
当社グループ事業の成長（工業製品・エンジニアリング事業）	13
サステナビリティへの取り組み	14

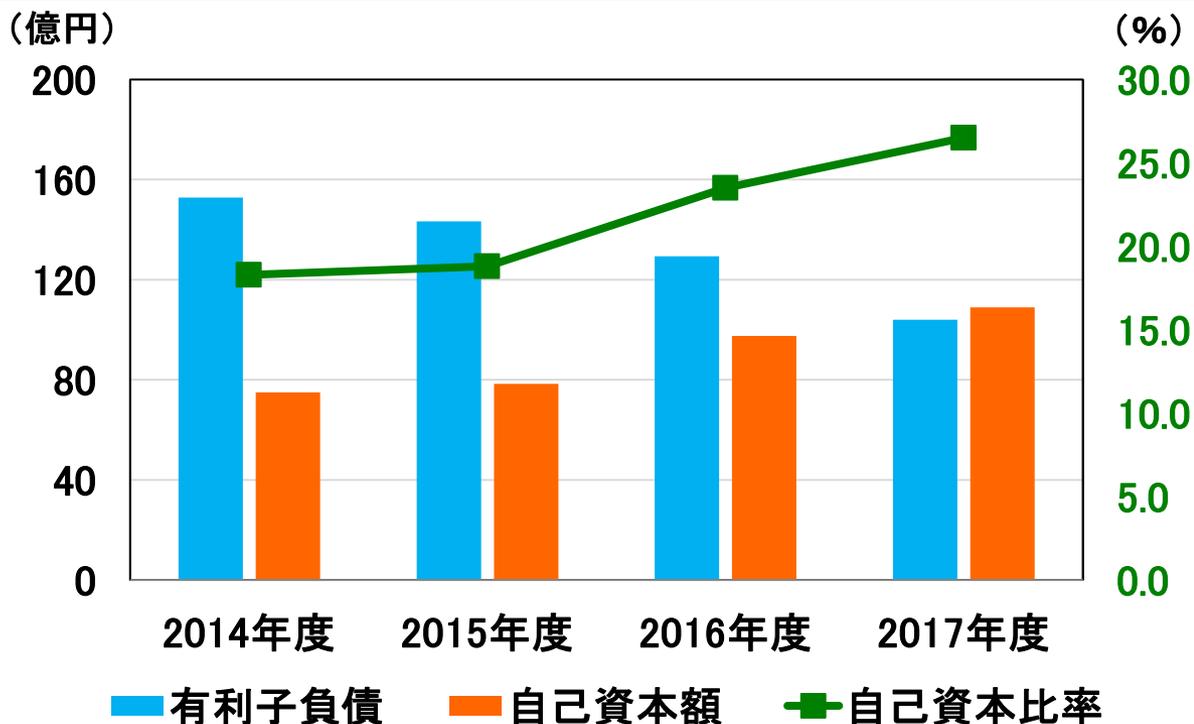
【2017中期経営計画の総括】

グループスローガン
「持続的に発展する企業としての礎を築く」



2017中期経営計画の総括

自己資本の推移と配当



2014年度ネットDER
2.04倍



2017年度ネットDER
0.95倍

配当



※当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。
株式併合後の基準で換算した2017年3月期の1株当たり年間配当額は25円になります。

1. 事業再編

- 子会社の統合 11社 ⇒ 8社
- 管材事業の昭和電工建材社との業務提携

2. 資産の有効活用

- 不動産の売却 14億円
- 有価証券の売却 2億円

3. 働きがいのある職場づくり

- 女性の活用推進
- 海外語学留学制度の導入と留学の実施
- 階層別研修の充実

4. 機能的な組織・制度

- リスク管理集約部門、事業推進部門の設置
- 新人事制度の導入

【2020中期経営計画】

政治・規制 (Political)

企業統治の強化
建築工事業の週休二日推進

経済 (Economic)

輸入原材料価額上昇
新興アジア諸国産業の成長



社会 (Social)

労働人口の減少
働き方改革の推進

技術 (Technological)

I・Tの導入促進
AIの活用

当社グループが属する業界・事業の動向



グループスローガン 「持続的な発展を実現し、企業価値を高める」

労働生産性の向上 [働き方改革]

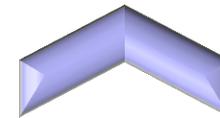
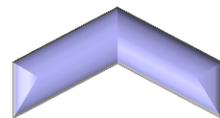
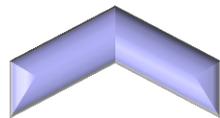
- 生産部門
AI、IoTの活用
- 工事部門
週休2日制の対策
- 営業、事務部門
残業ゼロへの取組み

積極的な開発・投資 [高付加価値商材拡大]

- 新製品、新工法の開発
- 高付加価値化による
更なる収益力拡大
- メンテナンス診断と
技術的サービスの向上

事業領域の拡大 [固定概念の打破]

- 周辺事業の取込み
(OEM、業務提携、
M&Aなど)
- 海外事業の推進
(東南アジア地区)

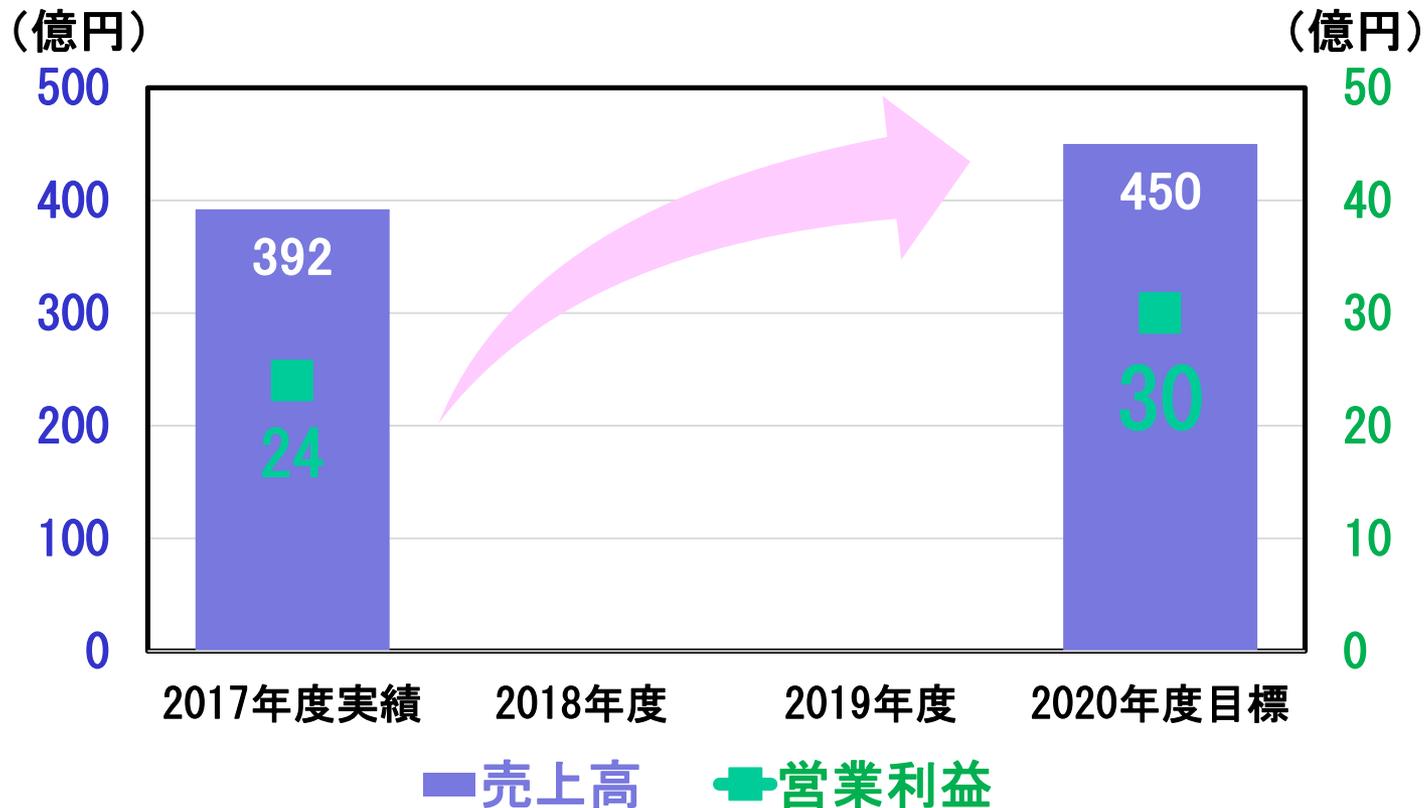


ガバナンス・品質管理・人材育成 の強化

2020中期経営計画 営業利益目標

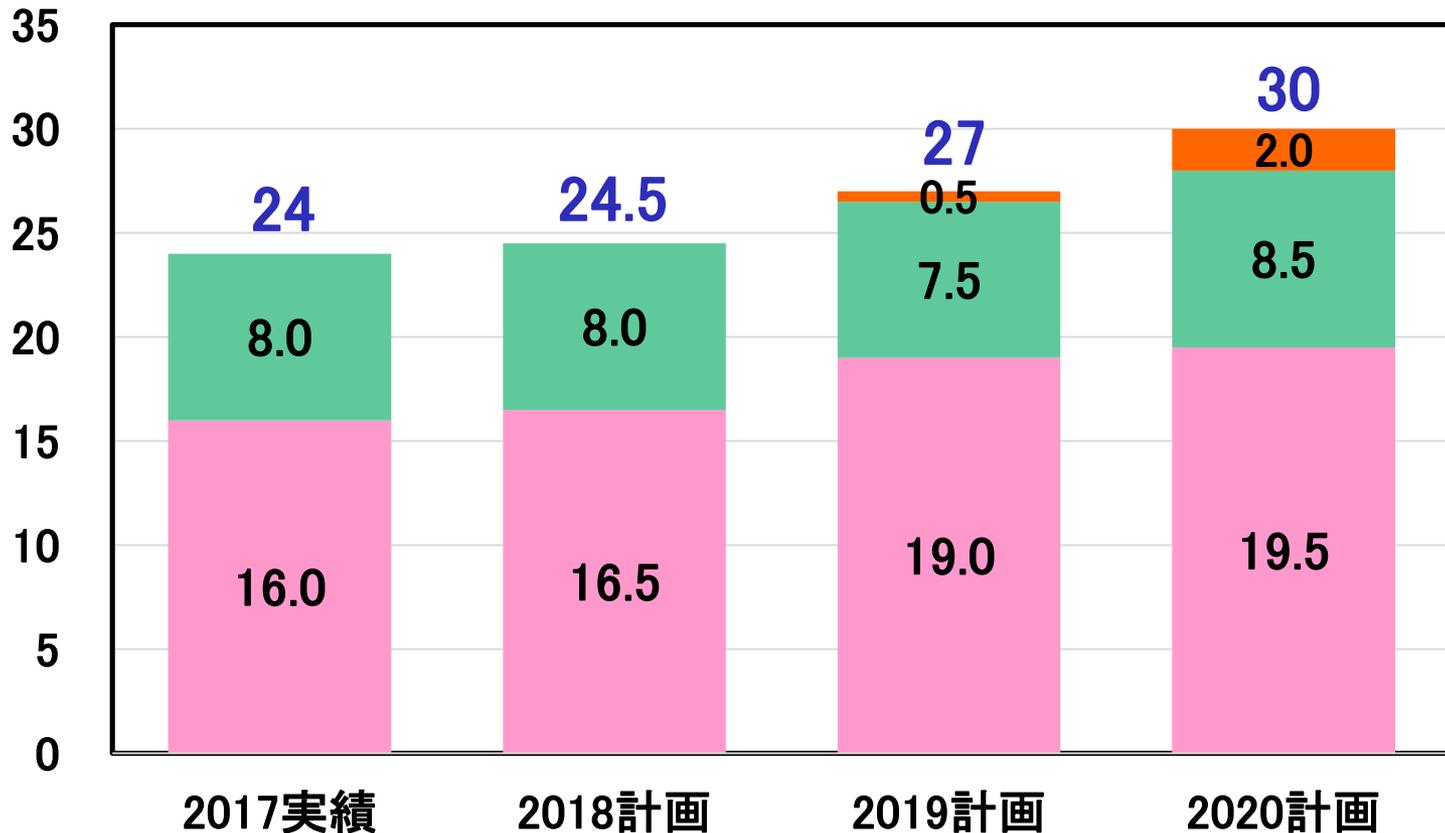


		2020年度目標	2017年度実績
売上高	(億円)	450	392
営業利益	(億円)	30	24



(億円)

事業別営業利益

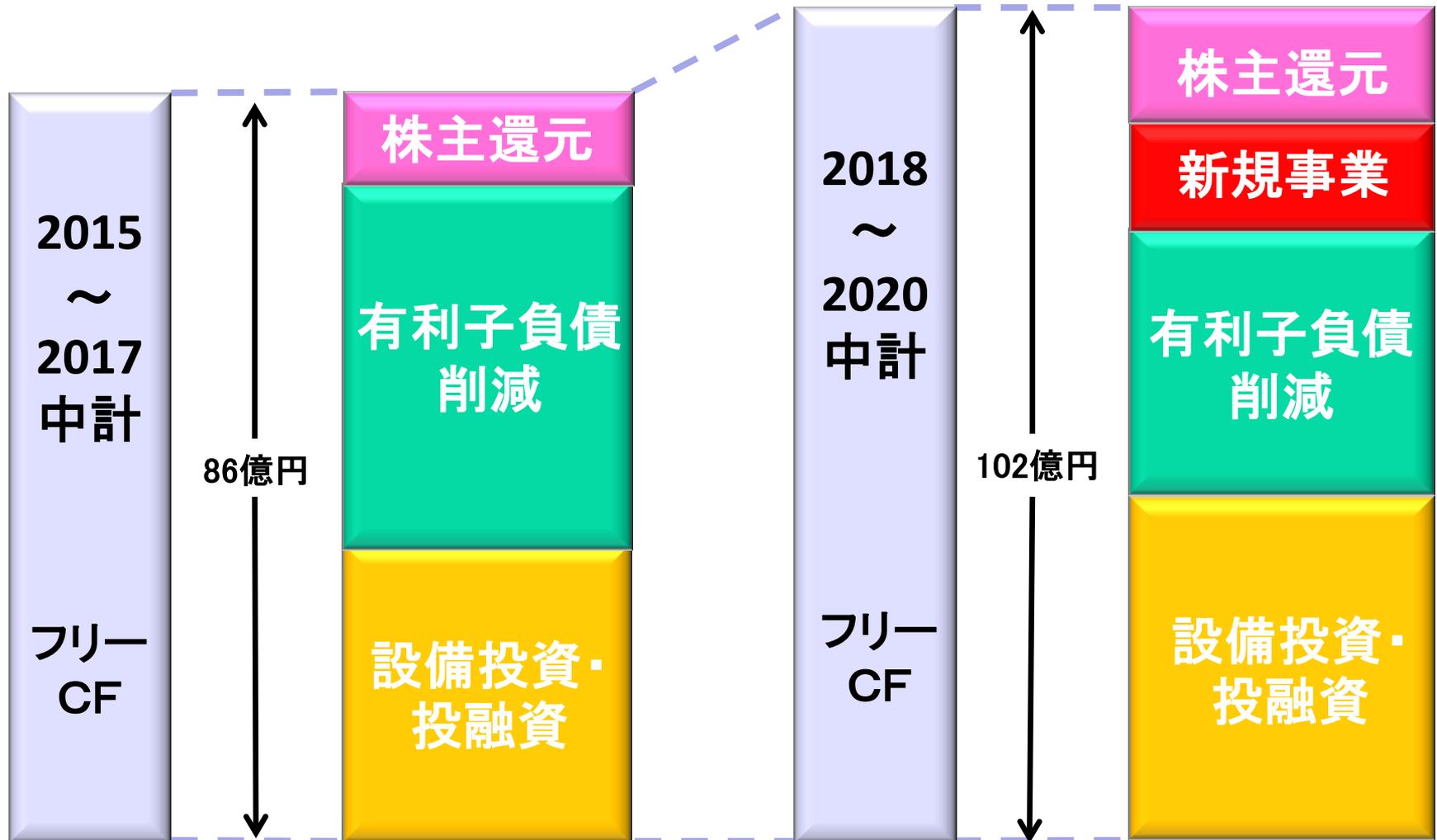


■ 建設・建材事業

■ 工業製品・エンジニアリング事業

■ 新規事業

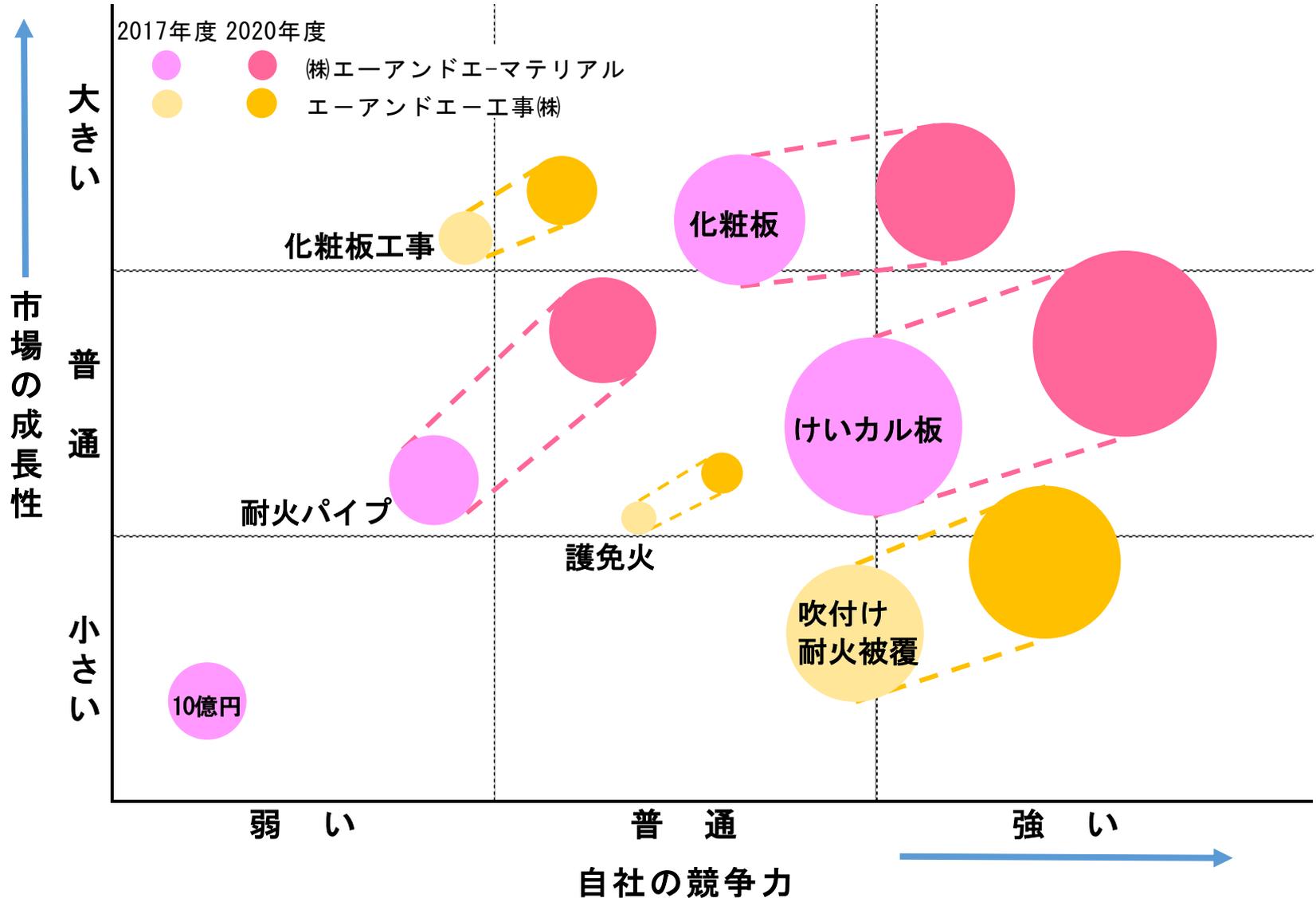
拡大するフリーキャッシュフローを成長投資、株主還元へ



当社グループ事業の成長 建設・建材事業



2017年度売上高（実績）～2020年度売上高（計画）分布図

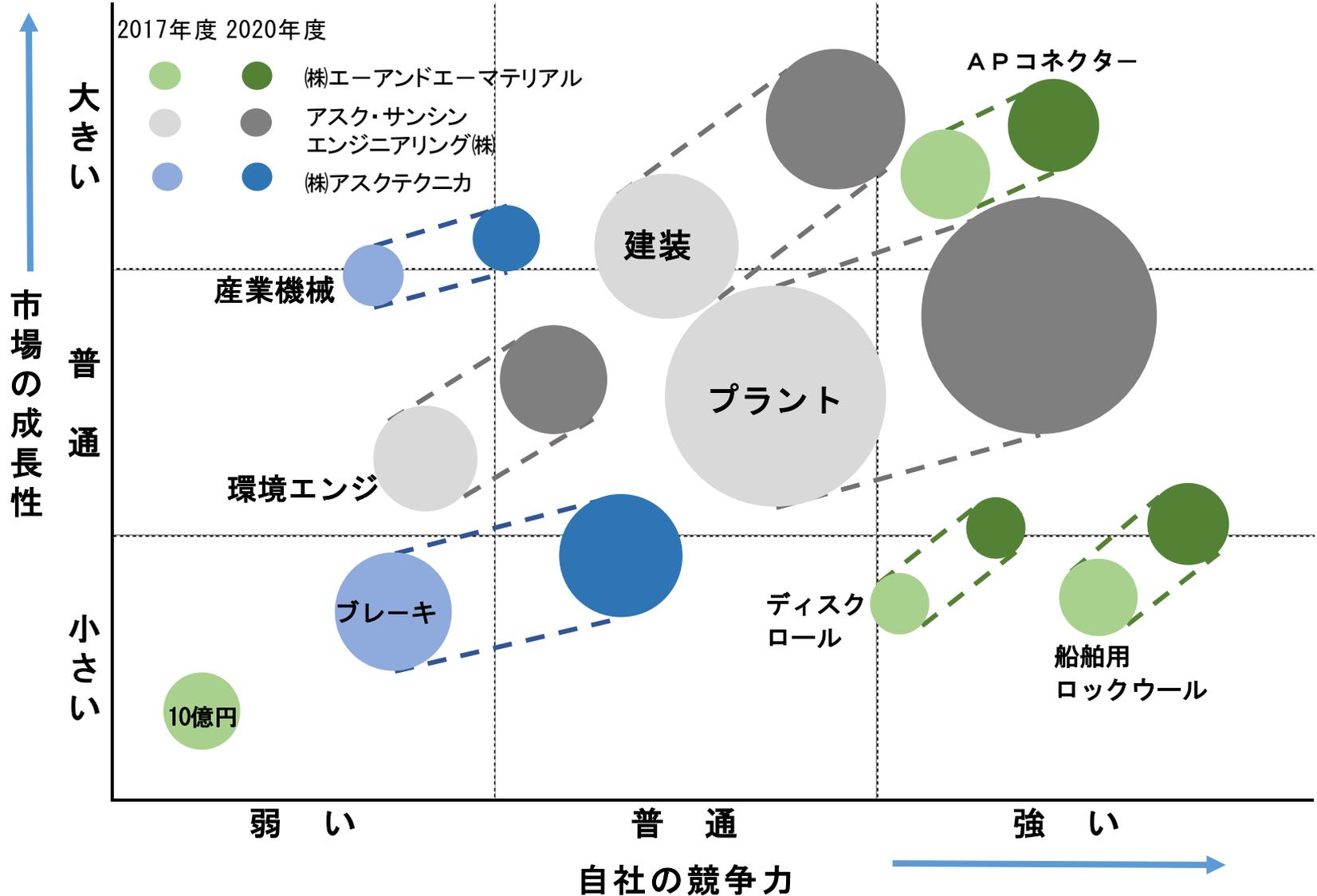


当社グループ事業の成長

工業製品・エンジニアリング事業



2017年度売上高（実績）～2020年度売上高（計画）分布図



サステナビリティへの取り組み



持続可能な開発目標 (SDGs)



国連で採択された2030年までに
解決すべき国際社会の課題
Sustainable Development Goals



エーアンドエーマテリアルグループでは



について重点的に取り組んで行きます。

- ・労働環境改革とヘルスケア
- ・働き方改革と収益力向上
- ・固定観念打破と事業推進
- ・CO₂排出量削減と産廃削減
- ・品質管理と新工法開発



人に優しく、地球に優しい
豊かな新世紀を作る企業でありつづけます。

